

2018年度(平成30年度)

事業計画書



公益財団法人キープ協会

目次

2018年度 事業計画の方針・重点項目	3
.....	
公益Ⅰ. 環境保全及び環境教育の研究と教育・普及に関する事業	4
1. 環境教育	
2. 「～八ヶ岳環境と文化のむら～山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター」 指定管理業務	
3. 環境省日光国立公園「那須平成の森」運営管理業務	
4. 山梨県地球温暖化防止活動推進センターの指定受託	
5. 環境研究所	
6. 地域における環境教育事業	
公益Ⅱ. 高冷地での農業生産及び地域農産物の高付加価値化に関する事業	6
1. 生産農場として	
2. 教育農場として	
3. 実験農場として	
公益Ⅲ. 青少年をはじめとする多様化コミュニティに対して体験・研修・合宿を 提供する事業	7
1. 清泉寮	
2. 自然学校・キャンプ場	
3. ポール・ラッシュ記念館	
公益Ⅳ. 国際交流・協力及び地域社会の活性化に関する事業	9
1. 国際交流事業	
2. 地域連携事業	
公益Ⅴ. 幼児の育成と子育てに関する事業(清里聖ヨハネ保育園)	11
1. 保育の質の向上	
2. 「異年齢児保育」と「森の保育」の継続	
3. 自然のリズムを大切にした食事の推進	
4. 他部署（自然学校及び環境教育事業部）との連携	
5. 園舎内及び周辺環境整備	
6. 視察・研修の受け入れ	
7. 保護者や地域の方々との協働	
8. 卒園児のバックアップ	

収益Ⅰ. 自家製造食品及び地域特産品等の普及・販売等	12
1. 2018年度重点業務	
2. 通常業務	
収益Ⅱ. 宿泊設備を使ったホテル事業	13
1. 清泉寮	

本部（管理部門）	14
1. 総務	
2. 経理	
3. 施設	
4. 企画	

2018 年度 事業計画の方針・重点項目

公益事業に係る中長期計画に基づき、2018 年度事業計画を検討・実施します。

■公益事業アクションプラン

1. 教育機能の強化：

キープ協会全体を学校と捉えて、世代や立場を超えた人々のための学びの場を創出します。

2. 一番美しい牧場プロジェクト：

景観やお客様に配慮した設備・案内看板類を充実させます。

3. 環境保全型運営：

キープ協会全体の廃棄物量を削減します。

【収益事業重点項目】

公益財団法人としての活動を支える収益体制を確立。

1. お客様を迎える体制整備：

清泉寮ジャージーハットの建替え等、より多くのお客様を受け入れるために施設整備と利便性の向上に取り組みます。

2. 収益力強化：

各事業部の営業力を強化し、効率的な事業運営を目指します。

3. 人材育成強化：

社宅を整備すると共に職員教育・研修や人事制度の見直し、職員が働きやすい職場環境作りに取り組みます。

公益 I. 環境保全及び環境教育の研究と教育・普及に関する事業

1. 環境教育

ヤマネの総合的な研究と環境教育研究を基盤に、市民・学校・企業・行政など多様な主体との協働による環境教育事業および環境保全事業を、清里・那須および国内外で展開し、上記事業を通して、持続可能な社会実現に寄与します。

(1) キープ・フォレスターズ・スクール

① キープ・フォレスターズ・スクールの役割

総合的な環境教育の推進、環境教育プログラムの提供および研究・開発、環境教育ネットワークの支援、「インタープリター」の役割の普及

② 2018 年度の重点目標

1. 宿泊団体および立寄り団体への営業
2. 主催事業の広報の強化
3. リスクマネジメントの強化と徹底

③ 主催事業

「実験」「協働」をキーワードにした魅力的なプログラムの開発・実施

④ 受託事業

「実験」「協働」をキーワードにした魅力的なプログラムの開発・実施

⑤ 指導教育

職員教育、実習生トレーニング、研修生・インターンの受入れ

(2) キープやまねミュージアム

① やまねミュージアムの役割

ヤマネの総合的な研究のさらなる推進、ヤマネ研究者とのネットワーク構築、ヤマネ保護と森林生物多様性保全の提案、環境教育・環境保全策の普及

② 2018 年度の重点目標

清里・国内外での調査研究強化、得られた研究成果の発信
(論文発表・学会発表・館内展示)

③ 2018 年度の事業計画

国内外での総合的なヤマネおよび生物多様性研究の推進、ヤマネ調査の受託、シンポジウム実施を含めたアニマルパスウェイの国内外での開発と普及、国内外の研究者との連携・情報交換・共同研究、研究成果を活かした展示や環境教育プログラムの開発・実施、「やまねミュージアム」の管理運営、ヤマネ関連グッズの開発・販売、老朽化する建物の維持・管理・補修、ボランティアとの連携

2. 「～八ヶ岳環境と文化のむら～山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター」指定管理業務

第3期5年度目の指定管理業務を担当します。山梨県及び八ヶ岳地域の環境教育センターとしての役割を意識し、施設管理やプログラムの企画運営を行います。

(1) 山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンターの役割

自然環境に関する情報と学習の機会を提供することを通して、山梨県の良好な環境の保全と継承に貢献します。

(2) 事業内容

プログラムの開発と実践、施設内外での展示、年度テーマに即した事業の実施、自然資料収集のための調査、教材開発、地域の拠点施設としての活動、周辺の文化施設、地域にあるネットワークとの連携、自然ふれあい施設としてのハードの整備・施設維持管理、自主事業（環境教育関連書籍やグッズの販売、スノーシューの貸し出し等）

3. 環境省日光国立公園「那須平成の森」運営管理業務

「那須平成の森（フィールドセンター）」の運営管理を請負って8年目（1期3年として3期目の2年目）の業務を担当します。

(1) 2018年度の重点目標

第3期の主たる取り組みとして、「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議（議長：内閣総理大臣）」で決定された「国立公園満喫プロジェクト」に係る事業の2年目を実施していく中で、「那須平成の森を日本の自然ふれあい施設における人材育成事業の拠点とする」ための事業実施およびシステム構築の方策を検討し推進していきます。

また2018年度は、栃木県のDESTINATIONキャンペーンの本実施の年に当たります。環境省、栃木県、JR、地元観光協会等と協力して那須への誘客に積極的に取り組みます。

(2) 事業内容

「インタープリターと歩く那須平成の森ガイドウォーク」、「自然体験・学習プログラム」、「無料ミニプログラム」、受託事業（学校団体等のプログラム）、年間を通したシリーズ事業、県内の大学と連携した人材育成事業の実施、屋内外の展示制作、公園の環境管理、地域連携等の各事業を実施し、那須平成の森の運営を円滑に行います。

4. 山梨県地球温暖化防止活動推進センターの指定受託

4年度目の地球温暖化防止活動推進センター業務を行います。

- (1) 地球温暖化の現状及び地球温暖化対策の重要性についての啓発及び広報活動
- (2) 地球温暖化防止活動推進員及び地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う民間団体の活動支援
- (3) 日常生活に関する温室効果ガスの排出抑制のための措置についての照会、相談及び助言
- (4) 日常生活に関する温室効果ガス排出実態についての調査、分析への協力
- (5) 定期的又は時宜に応じた上記調査分析結果の提供

5. 環境研究所

環境教育事業部の機能の1つとして、事業部横断的に研究活動を行います。

- (1) 環境保全研究（やまねミュージアムが担います）
- (2) 環境教育研究

森林保全作業を通じた環境教育の研究および実践環境教育実践の整理・研究・発表、指導教育に関する研究

6. 地域における環境教育事業

地域との協働を通じた環境教育事業に取り組みます。

(1) 事業内容

地域の教育機関・福祉機関等への協力、やまなし環境教育ミーティングの開催、森の学童など地域住民への環境教育、地域内各種ネットワークへの参画

公益Ⅱ. 高冷地での農業生産及び地域農産物の高付加価値化に関する事業

1. 生産農場として

(1) 標高 1,250m～1,400m の高冷地、傾斜地で 2017 年度に引き続き飼育総頭数 100～110 (内訳：成牛 55、育成牛 20、仔牛 15、雄仔牛 15) 搾乳頭数は年間平均 47 頭とし、総生産乳量は 172,000kg (タカハシ乳業への出荷乳量は 165,000 kg、哺乳量 7,000 kg) を目標とします。

引き続き安全、安心、衛生にこだわった、有機JAS牛乳の生産に努めます。

(2) 雄仔牛を肥育して牛肉の生産を行います。

(3) 粗飼料の完全自給を目指し、圃場の生産性向上(採草地 45ha、放牧地 25ha、畑作圃場 1.5ha) に努めます。

(4) 畑作圃場を使用して土壌改良や獣害対策を行い、食用作物の生産に努めます。

2. 教育農場として

(1) 後継者育成及び学習の場の提供として、短期及び長期実習生、大学等の生徒・研修生の受け入れを行います。

(2) 農業体験プログラム(酪農体験・食用作物体験・飼料作物体験)を実施し、広く食糧生産について体験する場を提供します。

(3) 新しい学びの場の提供のため、新規プログラムの開発に努めます。

3. 実験農場として

(1) 牧草地に堆肥等の散布を行い、循環型酪農に努めます。

(2) 山梨県畜産課・酪農試験場・家畜共済組合と協力し、受精卵移植、肥育牛の肉の販売促進・商品開発や、酪農体験プログラムを合同で実施します。

(3) 継続事業として粗飼料対策事業助成金を取得します。

(4) 引き続き、高冷地生産(鶏・イチゴ・ジャガイモ・大根・シイタケ等)に取り組みます。

公益Ⅲ. 青少年をはじめとする多様なコミュニティに対して体験・研修・合宿を提供する事業

1. 清泉寮

地域のランドマークとして、また公益財団法人キープ協会の中核施設としての使命と役割を果たすと共に、研修宿泊施設として広く教育旅行の受け入れと体験プログラムの提供を行います。

- (1) 研修利用に際して求められる設備・食事・プログラム・スタッフ等、受け入れ体制を整え、学校、教会、企業を始め、より多くの団体のニーズへの対応と研修効果の向上を図ります。
- (2) 豊かな自然環境を生かした自然体験プログラムやキープ牧場の農業体験プログラム等の多彩な教育的活動の提供を引き続き重視し、青少年を中心とする利用者の声に耳を傾けながらさらなる改善を目指していきます。
- (3) 地産地消をベースにした安全な手作り食の提供や地域生産者の情報発信、食育プログラムの実施等を通し、食の教育普及や健康増進、地域振興を図ります。
- (4) 行政機関の協力や指導を仰ぎながら、本部、施設部と連携した施設の修繕計画を進めるとともに、消費エネルギーの削減に積極的に取り組むことによって、安全かつ適切に、事業の継続を図ります

2. 自然学校・キャンプ場

団体・グループ利用に特化した研修宿泊施設として、青少年育成、健康管理、幼老の向上等を目的とした実験的な取り組みを継続していきます。

- (1) 通年営業の自然学校は教育の場として、夏季（7月～9月）営業のキャンプ場は、環境教育や国際的な活動の実践の場として、各種団体の受け入れを行います。
- (2) 保育科の大学・専修学校、保育園、幼稚園、こども園の職員や園児、その保護者等を対象とした幼保教育関係団体の受入とプログラム提供に注力します。
- (3) 地元農家と連携した、安全で健康的な食材の提供、開発を行うと共に、郷土料理の継承体験や手作り体験の企画・開催・栄養士・調理師研修生の受入、食育を推進します。
- (4) 「森のようちえん」「やまもりキャンプ」「森のかぞくキャンプ」等の主力企画をはじめ、食と農、自然をテーマにした主催キャンプの実施を積極的に増やすと共に、医療期間、養護施設、授産施設等と国際と地域をつなぐ、将来を展望した上での新しいジャンルのプログラム開発、人材育成を進めます。

3. ポール・ラッシュ記念館

公益財団法人キープ協会の根幹であるポール・ラッシュ博士の業績を広く紹介する仕組みづくりを進めると共に、キープ協会の広報・教育機能の一端も担っていきます。

- (1) 博物館として、ポール・ラッシュ博士の業績や歴史を紹介する通常の開館業務のほか、博士に関する資料のデジタルアーカイブ化作業の継続を始め、収蔵資料や美術品の保存・管理業務、歴史的建造物としてポール・ラッシュ邸の修繕・保護・活用に努めます。
- (2) 時期ごとに変化のある企画展を年数回行うと共に、本年度の清泉寮創設 80 周年、清里聖アンデレ教会奉獻 70 周年を記念する事業として、特別企画展を催します。
- (3) 日本アメリカンフットボール協会から寄託されている日本アメリカンフットボールの殿堂において、今年度も来館者にアメリカンフットボールに触れる機会の提供、競技の普及活動を行ないます。
- (4) 博物館として、県・市や対外的な機関との連携や、メディアや SNS を駆使した広報活動を積極的に展開します。
- (5) 文化庁の研修を修了したミュージアムエデュケーターが在籍する施設として、博物館での教育普及事業を進めます。
- (6) 前年度に引き続き、公益Ⅳ 国際交流・協力及び地域社会の活性化に関する事業のうち「1. 国際交流事業」(1) (2) (6) (7) について担当部署と協働します。
- (7) 地域の博物館・美術館等が参加する八ヶ岳ミュージアム協議会の創設館として、地域ミュージアムとの連携を続けます。
- (8) 地域へ良質な文化を届けることを目的に、他部署と連携をし、音楽会などを開催します。

公益Ⅳ. 国際交流・協力及び地域社会の活性化に関する事業

1. 国際交流事業

「異なるものをつなぐ」「青年への希望」を軸に、国際交流を通じてキープ協会内外の地域社会・教会関係団体等、多様なコミュニティとの連携を深め、事業内容の充実と発展に取り組みます。

(1) ケンタッキー交流事業【北杜市国際交流委員会主催】

北杜市の小中学生、大人の幅広い年齢層の国際交流事業の実施に協力します。

- ①北杜市代表団訪米事業(5月)
- ②中学生ホームステイ交流事業(7～8月)
- ③マディソン郡代表団受入事業(10月)
- ④文化交流(北杜市交流員派遣5月、マディソン郡交流員受入10月)
- ⑤子ども絵画交流(通年)

(2) 国内外のインターン生の受入れ(6～10月)

日本・アメリカ・フランス・フィリピン等の青年を受け入れ、多文化交流を実施します。同時に、地域への英語プログラムの提供を通じて地域の国際理解・親善活動を推進します。

(3) 地域への英語プログラムの提供(通年)

国際交流をキーワードに独自のプログラムを創出し、主催・受託事業を拡大します。

(4) 北杜市立長坂小学校の「国際理解教育」事業への協力

地域の青少年育成と地域社会への貢献を図るため、環境教育、国際理解・英語教育等の分野で事業協力を行います。

(5) 北杜市立甲陵高校 SSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業への協力

SSHは先進的な理数系教育による創造性豊かな人材育成を目的とした文部科学省主管の事業。その指定校である甲陵高校の設定する課題「グローバルに活躍する人材の育成」「社会との共創」に対し、英語プログラムを提供し、青年の育成および地域への貢献を図ります。また、「公益Ⅰ。」で行う環境教育事業とも連携し、さらなる教育効果の向上を図ります。

(6) キープ・アメリカ後援会(ACK)との協働事業

絆プロジェクト【ピース・フィールド・ジャパン主催】の受入れ(8月)を通して中東の平和構築、青年の国際理解・親善に寄与します。

(7) 北フィリピン青年育成事業への協力(通年)

インターン生の受入、現地の青年事業への協力等を行います。

(8) 国際交流団体・公的機関との連携(通年)

在日米国大使館、国際協力機構(JICA)、山梨県国際交流協会、国際交流北杜地域連絡協議会等の諸団体との連携を図ります。

(9) ウェブサイトを通じた情報発信(通年)

ウェブサイトにおいて国際事業に関する情報を更新し、広く発信します。

2. 地域連携事業

(1) ポール・ラッシュ祭～八ヶ岳カンティフェア～2018 の開催

ポール・ラッシュ博士が清泉寮を設立して 80 年を迎え、ポール・ラッシュ精神の顕彰と草の根国際交流の実践を広くアピールし、八ヶ岳に暮らす人々と八ヶ岳を愛する人々の結びつきを強めるため、北杜市をはじめ地域団体との協力のもと、ポール・ラッシュ祭～八ヶ岳カンティフェア～を開催します。

(2) 地域連携業務

- ①北杜市社会福祉協議会等と連携し、貧困な環境に置かれた子供たちの支援に取り組みます。
- ②八ヶ岳観光圏事業や清里観光振興会等との組織と連携し、歴史・文化・観光等の側面から地域連携に取り組みます。

公益 V. 幼児の育成と子育てに関する事業（清里聖ヨハネ保育園）

キリスト教の精神に基づき「一人ひとりを祝福する保育」を保育目標に掲げ、「森の保育園」のコンセプトのもと、地域資源である豊かな自然環境を積極的に活かした保育活動に取り組みます。また、地域に開かれたコミュニティセンターとして、地域における教育や子育てに関わる事業に積極的に取り組み、地域社会の健全な発展に貢献します。

1. 保育の質の向上

昨年度に引き続き、「キリスト教保育」「森の保育」「野外活動におけるリスクマネジメント」の3点について、質の向上を目指します。チーム力向上のため、スタッフ全員参加の園内研修を意欲的に実施し、また個々のスキルアップのため外部研修への参加を進めます。

2. 「異年齢児保育」と「森の保育」の継続

従来の保育方針を継続し、森の保育活動の実践を充実させ、特に今年度は森の保育のカリキュラム作りに取り組みます。また、異年齢児グループと年齢別グループの、それぞれの良さを組み合わせ合わせた活動や生活を展開します。

3. 自然のリズムを大切にしたい食事の推進

自然のリズムに配慮した生産活動への理解や、旬の食材利用、生産者の方々とのつながりを大切にしたい食事や食育に取り組みます。また、引き続き、アレルギー対応食の提供や、「食」の体験活動にも積極的に取り組みます。

4. 他部署（自然学校及び環境教育事業部）との連携

引き続き、「森の楽童」において、環境教育事業部との協働を進め、発展させます。また、自然学校とは、フィールドの使用や整備での協働にも取り組みます。

5. 園舎内及び周辺環境整備

保育園での暮らしをより充実させるため、新園舎内及び周辺環境整備を長期的ビジョンの下計画的に進めます。特に、地域在住のランドスケープデザイナーと連携し、「森庭」の整備を重点的に進めます。

6. 視察・研修の受け入れ

自然学校や清泉寮と連携して、各種保育団体や学校等の視察・研修の受け入れに取り組みます。

7. 保護者や地域の方々との協働

「森の楽童」「大屋根マルシェ」「文庫活動」等地域の子育て支援、幼児教育の向上を目的とした活動に対して園舎を提供し、保護者や地域の方々と共に創り実践を重ねます。

8. 卒園児のバックアップ

次世代の青少年育成を支援するため、保護者主催の「卒園児キャンプ」への協力を積極的に行います。

収益 I. 自家製造食品及び地域特産品等の普及・販売等

公益財団法人キープ協会が行う公益事業の経済的基盤を支えるため、自家製品や地域特産品の販売等を中心とした様々な事業により、収益の確保を図ります。

1. 2018 年度重点業務

(1) 新・清泉寮ジャージーハット稼働

- ① 現在の清泉寮ジャージーハットを建て替え、新たにパン・ジャム工房を併設し、ソフトクリーム販売・物品販売・カフェ営業などの機能強化を図ります。また、お客様用のトイレや休憩スペースを新設するなど利便性を高め、清泉寮への立ち寄りのお客様の主要拠点として、一体化したサービスを提供する施設運営に努めます。

(2) キープ内客単価の向上を図る、お客様の滞在時間延長化

- ① 新・清泉寮ジャージーハットを中心とした運営
- ② 店舗間連携による複数店舗の利用促進
- ③ 居心地の良い環境・空間の整備
- ④ 購買意欲を増加させる運営および接客サービス
- ⑤ 子どもを対象とした運営および設備の充実

(3) お客様から共感を得るための職員教育

- ① キープの一員としての意識向上
- ② 接客・サービス研修
- ③ あらゆる商品知識の習得

2. 通常業務

- (1) 店舗運営（清泉寮ギフトショップ・清泉寮ジャージーハット・清泉寮セレクトショップ・清泉寮パン工房・清泉寮ファームショップ、清泉寮新館売店）
- (2) 通信販売およびインターネット販売
- (3) 商品開発
- (4) 清泉寮ソフトクリームおよびジャージー乳製品の出張販売
- (5) 地域生産品およびフェアトレード製品などの公益性のある製品の積極的な利用と販売
- (6) 「人と地球の健康」をキーワードとした観光地での安心出来る食の提供
- (7) 集客を図る効果的な宣伝広報
- (8) ホームページを利用した情報発信
- (9) 店舗周辺的环境美化およびガーデン管理
- (10) 購買の一元化による効率的な仕入・在庫管理
- (11) 業務の効率化によるコスト削減
- (12) 各店舗間における職員・スタッフの柔軟なシフトによる人事の効率化

収益Ⅱ．宿泊設備を使ったホテル事業

1. 清泉寮

研修宿泊施設としての役割を果たすと共に、キープ協会が行う公益事業の経済的基盤を支えるため、一般のお客様の宿泊や食事、パーティーやブライダルなどの受け入れ等の事業を進め、収益の確保を図ります。

- (1) 宿泊予約サイトの活用や、宿泊・食事プランの見直しと検討を進め、客室稼働の向上を図ります。
- (2) 地産地消を重視した食事や、抜群の景観と豊かな自然環境といった、他施設にはない独自の施設の特徴を生かした集客を図ります。
- (3) 清泉寮利用者の拡大や、インターネットや SNS を生かした効果的な情報発信を継続することで、清泉寮はもとより、キープ協会の他施設や商品・サービスの利用の促進やキープ協会の理念の周知と、それによる支援者の獲得に繋がります。
- (4) 清泉寮新館、キープ自然学校、ポール・ラッシュ記念館等の施設の売店運営を継続します。
- (5) 立寄り利用者向けの本館レストランを通年で営業、また各種パーティーやブライダルの受け入れを行います。

本部(管理部門)

公益財団法人の管理部門として、総務・経理・施設・企画の各部を置きます。

1. 総務

- (1) 法人の運営
- (2) 関係団体との窓口
- (3) 職員の管理、福利厚生等

2. 経理

- (1) 法人の財務管理

3. 施設

- (1) 法人の施設の維持、管理、修繕
- (2) 施設更新に関する意見具申

4. 企画

- (1) 企画関連業務
 - 法人の各事業部に関する運営等の計画策定・管理
- (2) キープ協会全体の情報発信体制の強化
 - ① マスコミや各種メディアへの積極的な発信
 - ② キープ協会内の案内ツール・標識等のサインの整備
- (3) 募金の管理業務
 - ① Friends of KEEP 会員組織活動
 - a. 会報清泉寮だよりの作成と発信
 - b. メールマガジンの作成と発信
 - ② 顧客名簿の管理等